

提出 順番	No. 8	令和 8 年 5 月 29 日 午前・午後 9 時 55 分受領
----------	----------	-------------------------------------

令和 8 年 5 月 29 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様


幕別町議会議員 谷口 和弥 

## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
幕別町の地域経済活性化を推し進める電子地域通貨「まくPay」に	<p>今年 4 月 1 日、幕別町・幕別町商工会は食料品等の物価高騰による幕別町民の負担軽減のために、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を利用した「まくPayポイント還元事業」を 2 事業実施した。</p> <p>実施した事業のひとつは 1 人当たりポイント 1 万円相当の行政ポイントをチャージしたまくPayカードを住民基本台帳上の世帯主に対して世帯人数分を送付する事業。もうひとつは「まくPay」を利用して買い物をするとカード 1 枚あたり 5 万円を限度額に最大 50 パーセントを還元する「生活応援キャンペーン」を今年度 4 月 1 日から 5 月 6 日までの期間実施したものであった。</p> <p>幕別町商工会が主体となって運営している「まくPay」は、令和 4 年 1 2 月から導入された。昨年度までは参加事業者数、利用登録者数、利用率など、どの項目においても導入当初の計画を大きく下回り、「行政ポイント」「0・8・9まくPayの日キャンペーン」、「まくPay」電子マネー山分けキャンペーン」などこれまで様々な事業を行ってきたにもかかわらず、大変厳しい利用総額の推移を示してきた。</p> <p>今年度実施した 2 事業が、「まくPay」利用の推進につながり、町内の地域経済の活性化にどの程度寄与したかの総括のほか、従来から指摘されてきた課題や新たに生まれた課題について整理する必要があると考えることから、以下の点について伺う。</p>

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。

	<p>1 今年度4月1日から実施した2事業の成果は</p> <p>2 「まくP a y」の課題解決に向けた今後の取り組みについて</p> <p>(1) 個人を特定する情報を持たない「まくP a y」カードを、「生活応援キャンペーン」等によってひとりが複数枚所持するケースが発生することとなった。いかなる場合も再発行しないとされるほどの「まくP a y」カードの管理方法は。</p> <p>(2) 「生活応援キャンペーン」で発行された「まくP a y」カードのこれまでの利用件数と利用率は。</p> <p>(3) 有効期間2年間を過ぎたことで幕別町商工会の収入となった電子マネーやポイントのこれまでの総額や収入の活用方法は。</p> <p>(4) 「まくP a y」参加事業者数を増やすための取り組みは。</p> <p>(5) 行政ポイントの拡大や公共施設利用料の支払いを「まくP a y」で可とする考えは。</p> <p>(6) 今年度、大型店の事業参加があったことによる影響と、さらなる大型店・コンビニエンスストアの事業参加の可能性は。</p> <p>(7) 幕別町商工会に加盟していない町内事業者にも「まくP a y」を利用できるようにする考えは。</p> <p>3 今後の「まくP a y」利用推進のための施策と幕別町商工会に対する支援への考えは</p>
---	--

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。